

氷の次に滑らか! 摩擦係数0.04 μ



新発売!
¥4,000(税別)

「リキテックM」とは?

酷使されるレースの世界で実績を積んだミッション保護用添加剤です。

新しい添加剤「リキテックM」の主原料、フッ素樹脂は地球上のすべての単一物質中では、氷の次に滑りに性に優れた物質です。

摩擦係数(単位= μ)

氷/0.027	フッ素樹脂/0.04	
二硫化モリブデン/0.12	ギアオイル/0.13	菜種油/0.14
スピンドル油/0.26	シリンダー油/0.31	

- ◆摩擦抵抗を減らし、ベアリングやシャフト、ギアの摩擦熱が軽減!
- ◆ミッションケース内を循環することで振動や騒音が減少!パーツの延命効果が期待できます。
- ◆潤滑性が上がり、シフトの入りが良くなり、シフトフィーリングが向上!!気持ちよく走行できます。
- ◆軸や軸受け部等の摩擦による焼き付き、歪み、キシミ発生の防止に威力を発揮!!

ミッションオイルに添加することにより、ミッションケース内をオイルと循環し、各 부품の金属部の滑り性を向上させ、ドライスタートによる金属剥離を防ぐとともに、ギアの歯飛びや構成パーツの延命効果&ミッションのフリクションロスを減らします。ギアの入りマイルドになり、油温が低い時でも上がりすぎている時でも、シフトフィーリングを向上させます。特に入りにくいオイルが冷えている時も通常時と同じ位にスムーズに入ります。

安全性にも全く問題はありません。フッ素樹脂自体は、330度以上で熱せられ融解しない限りは他の物質に変化しませんし、他の物質への攻撃性もありませんので、ミッション本体や付属部品への腐食や浸食は考えられません。当然、プラスチックやゴム製品などの硬化や劣化を促進するものでもありませんし、目詰まりや噛み込みの原因にもなりません。製品に自信あります。

リキテック

〒812-0020 福岡県福岡市博多区対馬小路 1-21 6F TEL 092-282-1224 FAX 092-282-1228

ギア回転上々。



- ◆危険有害性情報/GHS分類に該当しない
- ◆絵表示・注意喚起語/なし
- ◆第4種 第4石油類 危険等級III

<http://www.liqtek.co.jp>

※本品は、壊れたミッションがよくなる物ではありません!

ミッションの保護用添加剤 “リキテックM”

“リキテックM”とは？

リキテックMは、今までレースなど酷使される世界で使用し実績を積んできました。リキテックMは、自動車やバイクよりも遥かに大トルクで高熱の摩擦熱が発生する大型の工業用機械や重機で使用されているものを自動車やバイクにも使えるように改良した新しい商品です。リキテックMは、基本的に添加剤が入っていない鉱物油にフッ素樹脂をまぜ混ぜこんだものです。ミッションオイルに添加することにより、ミッションケース内をオイルと循環し各 부품の金属部の滑り性を向上させドライスタートによる金属剥離を防ぐとともに、ギアの歯飛びや構成パーツの延命効果、ミッションのフリクションロスを減らす新しい添加剤です。

今迄、フッ素樹脂は摩擦係数が氷の次に小さい上に酸化しない良いものと解っている反面、他の物質との混合性が弱くオイルの中ではすぐに沈殿し凝集するという難点がありました。最近のナノテクの発展と独自の技術でオイル中でも混合し分散するように改良出来ました。

2012年11月から色々なカテゴリーのレース車両や商用車、街乗りの自家用車から通勤車等でテスト使用してきました。皆さん、ギアの入りマイルドになり油温が低い時でも上がりすぎている時でも、シフトフィーリングが向上し、特にギアが入りにくいオイルが冷えている時にでも違いを体感していただいています。ミッションの抵抗が減る事により低速域でのトルクの違いが出ているのではとも言っていただけます。

2013年からS耐でテスト使用を始め、真夏の富士スピードウェイでの長時間使用では、「油温が高めになってもシフトフィーリングが渋くならなかった。」と仰っていただきました。又、同じく真冬の北海道の寒冷地での長期テスト使用でも、皆さん「油温が低くてもギアの入りがいい！」とよい評価をいただきました。

ミッションが弱いと言われている86/BRZレースでも2015年からテスト使用を始め、「シフトフィーリングがよくなるのはもちろんミッションの耐久性もよくなった」とよい評価をいただき使用されたチームは2016年、プロクラス・クラブマンクラスのシリーズチャンピオンを獲得されました。

リキテックMは安全性にも全く問題はありません。フッ素樹脂自体は、330度以上で熱せられ融解しない限りは、他の物質に変化しませんし、他の物質への攻撃性もありませんのでミッション本体や付属部品への腐食や浸食は考えられません。もちろん、プラスチックやゴム製品などの硬化や劣化を促進するものでもありません。尚且つ、目詰まりや噛み込みの原因にならないよう、リキテックMに含まれるフッ素樹脂の粒子は大変細かいものになっています。以上のようなことから、これまでリキテックMには不具合などの報告やトラブルはなく、安全性にも自信を持っております。



リキテックM作業上のお願い

- 本品を使用される時は、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取扱わないで下さい。取扱う際には、皮膚に触れないよう各保護具を着用してください。
- 取扱う際には飲食や喫煙をしないでください。
- リキテック M をよく振ってから使用してください。
- 目安として最低でもミッションオイル約 2 リットルに 1 本は使用してください。
- 注入の際は、シリンジ等で直接ミッションケース内に注入してください。
ジョッキ等にミッションオイルを入れて混合されると、粒子が小さいのでジョッキ等に附着してしまい効果が薄れる可能性が高くなる為です。
- 注入される際は、最初シリンジに 10cc 位のメモリまで新油を吸込ませてください。
その後、本品を吸込んで注入されると、注入される際に注入ロスが少なくなります。
- 粒子が小さい為、容器内のデコボコに附着していますので、空の容器内に新油を少し入れて良く振って、また注入してください。
- 使用される時は、出来るだけミッションオイルの交換をされてください。
ミッションの状態を確認して頂きたいのと、本品はミッションオイル自体の効果を再生させる物ではありませんので、ミッションオイル自体が劣化していると効果も長持ちしないからです。
- 注入後、最低でも 5 分間位はミッションを回してよくオイルと混合させてください。
- 競技等でシフトが渋くなり即効性が必要な場合はミッションオイル総量の 5 パーセントを目安に注入してください。
その後は、オイルを抜いた後でも残留物がありますので、2 リットルに 1 本の使用でも可能です。但し、ミッションを降ろしてオーバーホールされた時は、最初だけミッションオイル総量の 5 パーセントを目安に注入されてください。
- 競技車輛のように頻繁にミッションオイルを交換されない車輛の場合は、ミッションオイル総量の 5 パーセント迄を目安に注入されてください。
- クラッチオイルとミッションオイルを併用するタイプの車には使用しないでください。
- 本品は壊れたミッションが再生するものではありませんので、壊れたミッションには効果はありません。

〒812-0000

福岡市博多区対馬小路 1-21 6F

リキテック

TEL092-282-1224 FAX092-282-1228

<http://www.liatek.co.jp>

◆第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

◆絵表示・注意喚起語／なし

◆危険有害情報／GHS 分類に該当しない



今日、ご紹介するのは、リキテックM、、ワンメイクレースの1号車と84号車のミッションに入れている添加剤、、特に1号車は、走る距離が長く、新車の時からこのリキテックMを入れて、走行テストをしています、、ワンメイク車両は、常に全開シフトをしています、レーシングスピードで3500kmほどの走行をして、Rd. 1のモテギの前にミッションを交換して、、バラしたのが、下の画像、、





普通、1レース分の走行距離は、レース前の1テストで、100km、、金曜日に2走行で、70km、、予選で、20km、、決勝で、60kmで、トータル250km、、3500km全開シフトで使い、、計算では、14レース分、、もったねえ、、流石に、Rd. 1モテギの前にミッションは、交換しましたが、、まだ、行けたかなあ、、あまり、添加剤を信じないんですが、、コレは、、実証したね。。